



たすけあい かたりあい わかりあい しんじあい

令和6年度 9月号

# 高鷲小学校だより

令和6年8月27日  
羽曳野市立高鷲小学校  
発行：校長 小島 博之

## 夏休みもやっぱり高鷲っ子を

7月23日・24日は5年生が林間学舎でした。夏休み中の唯一の学校行事です。1学期中から役割分担しながらしっかり準備のうえ、夏空の暑さに負けない高鷲っ子の熱気あふれ元気に出発しました。行き先の洞川(奈良県天川村)は学校では味わえない豊かな自然と涼しい空気を満喫し、学校ではできない野外活動とみんなとの宿泊を体験できました。少々お疲れモードでも出迎えの先生たちに笑顔で「ただいま」と応える高鷲っ子。たくましいです。



その後は学校の内では学童保育の子だけで、酷暑の影響か外でも高鷲っ子の姿を見ることがなくなった夏休み。「元気でいてるかな～」と思いをよせながら、先生たちが授業や活動の研修をしたり、校務員さんが環境整備や1年生が使うひまわりの種の準備をしたり、業者さんが教室LED照明交換工事をしたり、2学期に高鷲っ子を明るく心地よく迎えるためにさまざまなお仕事をしていました。

やっと高鷲っ子に出会えたのが8月24日。夏休み中に学校に来てくれた地域ボランティアの方から、島泉地藏盆があり、高鷲小学校すぐ近くのお地藏さんの由来や、151年前高鷲小学校創立の地の明教寺で盆踊りや屋台がでることを伺い、当日夕方に風流な音に吸い寄せられるように出かけてみました。地域の方から「子どもたちが喜ぶ姿が嬉しいのよ」とにこやかにお話をし、広場では「先生～」とたくさんの高鷲っ子の声。久しぶりの高鷲っ子の顔を見てなんだかほっとしました。

夏休みが終わり今日から2学期。また一緒にあたらしい高鷲小学校をつくりましょう。

◆「たかわし」を大切に～【たかわし】の教育目標とめざす高鷲っ子のすがた  
「なつかしい」\*「あたらしい」高鷲小学校で、  
【たすけあい・かたりあい・わかりあい・しんじあい】  
【たくましく、かんがえて、わになって、しなやかに】  
高鷲っ子の生きる力をはぐくみ、笑顔と喜びを幸福につなげる、そんな高鷲小学校を、ご縁があってご一緒するみんなの力でつくりましょう。

R6高鷲小学校 教育目標・めざす高鷲っ子のすがた

「なつかしい高鷲小学校」を大切にしながら  
「あたらしい高鷲小学校」をみんなでつくる

4 つ の 共 通 目 標	「たかわし」	めざす高鷲っ子のすがた
	「かわし」	たくましく*いきる高鷲っ子
	「わし」	かんがえて*うごく高鷲っ子
	「しんじあい」	わになって*おもう高鷲っ子
「たすけあい」	しなやかに*のびる高鷲っ子	



◆8・9月行事予定(10月主なものは裏面に掲載しています。ご確認よろしくお願ひします。

2学期早々には、8月28・29・30日に夏休みの作品展(全日13時~16時体育館にて)、9月10日にフリー参観を実施しますので、高鷲っ子の力作やひと夏を経て一層たくましくなった様子をぜひご覧ください。※台風等状況により中止の場合もあります。その際はtetoruにてお知らせします。


また、10月13日(予備15日)には運動会があります。9月中から練習が始まります。高鷲っ子みんなで体育学習や集団づくり、高学年の係活動などに取り組みながら、暑さ対策や人数減少に鑑み、持続可能な運動会となるよう、今年度からプログラムや参観のあり方を見直します。詳細は後日お知らせします。ご協力よろしくお願ひいたします。なお代休は10月18日(金)です。

まぼろしの8月号

◆「たかわし」を大切に~「みんな大切な高鷲っ子 みんなで見て みんなで育てる」

「【高鷲小学校だより】8月号はないんですか?」と尋ねられました。すみません。実はありました。7月19日の1学期終業式に原稿を整えて印刷して配布するつもりでしたが、なぜかパソコンとの相性が悪く、下校時間に間に合わなくなり断念しました。そんな思いの中「8月号はないんですか」の声をいただき、自分の段取りの悪さをあらためて反省するとともに、【高鷲小学校だより】を楽しみにしている方がいることに心から感謝しきりです。この【高鷲小学校だより】が高鷲っ子の頑張る姿を伝え、「高鷲っ子をみんなで見てみんなで育てる」ひとつの有効な発信窓口となるよう、思いを込めて今後とも尽力いたしますので、引き続きよろしくお願ひいたします。

「幻の8月号」となってしまうかもしれませんが、少し遠慮して表面のみここに小さくのせさせていただきます。※校長室には通常版や拡大カラー版を置きますので、よろしければご覧ください。

 <p>1873→2024</p>	<p>たすけあい かりあい わかりあい しんじあい</p>	<p>令和6年度 8月号</p>
	<p>高鷲小学校だより</p>	<p>令和6年7月19日 羽曳野市立高鷲小学校 発行: 校長 小島 博之</p>

高鷲っ子の暑気払い

本当に猛暑続きの7月。暑さ指数が「危険」になり外で(プールも含む)運動できない日もありました。そんな中でも高鷲っ子は暑さに負けずたくさんの「暑気払い」をみせてくれました。

7月5日の午後の体育館では、3年生が理科の学習教材で作成した風力車が並び、うちわレーシング大会が始まりました。うちわの動かし方ひとつで、「いけいけ」と爆走する車、「どこいくねん」と迷走する車、「なんでやねん」と走らない車…この夏からエアコンが稼働していますが、体育館は高鷲っ子の熱気とうちわの音があふれる白熱したレースとなりました。

7月9日の下校時には、一際大きなパラソルが下足室から近づいてきて、中にはたくさんの高鷲っ子の姿が。「これいいやろ〜」と涼しげな表情ながら、「そんなに入ったら暑いんちゃうん」といわいと、高鷲っ子たちは傘でつくった日陰を楽しみながら、センダンの木陰のそばを通り過ぎました。

7月16日の午後には1年生が水遊び。濡れてもいい服に着替えてストロー付きペットボトルをスタンバイした高鷲っ子たち。開始早々、「うわああ」と大人と子どもの声とともに、大勢の元気な姿がそんなに濡れるつもりがなかった先生を追いかけ始めて水をまきながら大はしゃぎ。青空の下で運動場に水しぶきと歓声があふれ、暑いけどなんと涼やかなひと時になりました



◆「たかわし」を大切に~「助け合い 何事にも挑戦する 心地のよい学校」  
高鷲小学校の下足室を運動場から入ると、正面の廊下の窓の上に、高鷲っ子手作りのスローガンが掲示されています。代表委員会で話し合い考えた今年の児童会目標です。思いのこもった味わいのある1文字1文字は見ているだけでも嬉しくなり、高鷲っ子みんなで「あたらしい高鷲小学校」をつくる意気込みを感じます。【たすけあい】から始まり、その先の【かりあい】【わかりあい】【しんじあい】へと進みゆく高鷲っ子の姿が楽しみです。ご来校の際に少し見上げて、ぜひご覧ください。



◆8・9月行事予定(10月主なものは裏面に掲載しています。ご確認よろしくお願ひします。

7月の個人懇談ありがとうございました。あわせて、授業アンケートへのご協力に重ねて感謝申し上げます。お子さまの成長を共通理解し、より良い学校や授業づくりを進めてまいります。明日から夏休みですが、5年生は来週7月23・24日には林間学習です。一泊二日で洞川(奈良県天川村)にて自然体験学習をします。ご準備や体調管理等よろしくお願ひいたします。2学期早々には、8月28・29・30日に夏休みの作品展(全日13時~16時体育館にて)、9月10日にフリー参観を実施しますので、高鷲っ子の力作やひと夏を経て一層たくましくなった様子をぜひご覧ください。また、10月には運動会があります。高鷲っ子みんなで体育学習や集団づくり、高学年の係活動などに取り組めます。9月中から練習が始まります。詳細は2学期にお知らせします。

水と向き合い、何よりも大切な命を守るために

日常の入浴、自然のレジャー、船に乗ることもある私たち。毎年残念ながら起こっている水難事故や、昨今の豪雨の影響を見ればなおさらのこと、水のことを知り正しく向き合い、命を守るためにできることを考えて実践できる力が大切です。学校の水泳学習はその最たるものですが、ここ数年の感染症等の影響で、水泳学習が十分にできる環境が整わず、人生で体験した最大水量が家のお風呂という子もたくさんいるのではないのでしょうか。

梅雨空や猛暑と駆け引きしながら、今年度も高鷲小学校のプールでは水泳授業に臨みました。まずは顔をつけてもぐる、体の力を抜いて浮く、とにかく前に進んでみる、泳法を習得する…それぞれの発達段階に応じて、できることにチャレンジした1か月間。最初は「顔つけるの無理!!!」と怖がっていた子が、先生の指導だけでなく泳ぎの得意な子から一生懸命教えてもらいながら励まし合い、最後には「縦(プールの25m)で行ってみたい!」と笑顔で進んだ姿をみて、高鷲っ子の水に向き合う意欲の成長速度に感動を覚えました。各学年とも1時間は着衣水泳を実施しました。「浮いて待て!」を合言葉に、ペットボトルなどを使って浮く体験や、水に落ちた時のシミュレーションなど、安全にできることに取り組みました。高学年では水難学会の指導員の方からより専門的なことを学びました。

高鷲っ子のみなさん、どうぞこの夏を楽しく豊かに安全に過ごして、たくさん成長して、また2学期に元気な顔と声で高鷲小学校に来てください。それでは、よい夏休みを。



◆「たかわし」を大切に~「みんな大切な高鷲っ子 みんなで見て みんなで育てる」

地域の方の多大なご協力のもと高鷲吉村邸から切り出していた笹竹を使って、1年生はじめ校内で七夕飾りをつくりました。まだ余っていた笹竹を校務員さんに整えていただき、ボランティアルームのみなさまに短冊や飾りを作っていただき、玄関にも笹飾りをつくりました。「短冊書きたい」と高鷲っ子が願ひをつるしてくれました。「たかわし」みんなの思いや願ひが、形になっています。

